

はじめての  
アイエルツ

**O E L T S**

～イギリス・オーストラリア・ニュージーランド留学案内～

**英国留学試験**

Listening Reading Writing Speaking

**改訂3版**

関 妙子 監修

石谷 由美子 石田 毅 大工園 佳代 Christofer Bullsmith 著

南雲堂

# は し が き

この本は、イギリスやオーストラリア・ニュージーランドへの留学を目指す人を支援するための「参考書」兼「問題集」です。これまでの留学コースでの指導経験と学生たちからの質問をもとに書かれています。

## 本書の特長

### 日本人著者による、日本人学習者のための、日本語で書かれた「初」のIELTS解説書

大型書店やインターネット書店ではIELTS対策の問題集が売られていますが、それらはすべて外国人によって書かれた英語の本です。残念なことに、初めてIELTSに挑戦する人でも安心して使えるような日本語の本はこれまで出版されていませんでした。また、英語版の問題集は解説にあまり多くのページを割いていません。この本はイギリス圏への留学を目指す人が共通して抱く疑問や不安をふまえて解説中心でまとめられています。

### 日本ではあまり知られていないIELTS（アイエルツ）のすみずみまで解説

IELTSは伝統あるイギリスの英語教育を背景に専門家によって開発された優れた英語能力試験です。ところが英語教育がアメリカ寄りに偏っている日本では残念なことにあまり有名とは言えません。「聴く」「読む」「書く」「話す」の4技能をバランスよく、しかも実践的に測ろうとするIELTSの傾向と対策を詳しく解説してあります。初めてIELTSに挑戦する人にもわかりやすくまとめてあります。

### 留学準備の手順と留意点をていねいに整理した“紙上留学カウンセリング”

この本は単なる試験対策本ではありません。留学を目指す人のために必要な情報をまとめた「留学ハンドブック」でもあります。留学を考え始めた時から渡航の日まで、どの段階で何をすればいいのかを整理してあります。何から始めたらいいか迷ったらこの本を開いてみてください。

### 実際の授業をもとに“紙上授業”形式でまとめられた4技能別の学習アドバイス

4技能ごとに設けられた各チャプターは「理論編」と「実践編」に分かれています。「理論編」では取り組むに当たっての注意事項や覚えておきたい基礎知識を紹介しています。そして、その後の「実践編」では例題の解説を中心に、すぐに応用できる実践的な対応策を示していきます。

### まるまる2回分の模擬試験を用意

IELTSの全体像と対策が理解できたら実際の試験に近い環境で模擬試験に挑戦してみることが試験対策の王道です。スピーキングを除く3分野について2回分の模擬問題を用意していますので、時間配分などを試してみてください。さらに練習を重ねたい人もこの本1冊を勉強したその後には市販されている英語版の問題集も上手に使いこなせるようになっていくはずですよ。

この本『はじめてのIELTS』を上手に活用して、読者のみなさんが留学生生活を成功させること、そしてそれぞれの夢を実現されることを心から願っています。

著 者

## Chapter 1 IELTS 概説

IELTS を知ろう .....	6
IELTS と TOEFL はどこが違うの? .....	14
イギリス英語とアメリカ英語 .....	17
イギリスの教育制度を知ろう .....	22
留学手続きは? .....	30

## Chapter 2 IELTS 傾向と対策

Listening .....	36
Reading .....	48
Writing .....	66
Speaking .....	98

## Chapter 3 IELTS サンプルテスト

Test 1 .....	110
Test 2 .....	128
解答 Test 1 .....	144
解答 Test 2 .....	155

IELTS (International English Language Testing System)

# Chapter 1



## IELTS 概説



## IELTS を知ろう

最初に IELTS に関する疑問や不安にお答えしたいと思います。留学は考えているが IELTS について何も知らないという人は、まずこの Question Box で IELTS の全体像をつかんでください。

### Q1 「IELTS って何ですか？」

IELTS [アイエルツ] とは、International English Language Testing System の略で、1989 年に初めて実施された国際的な英語能力測定テストです。英語を使用する環境下で仕事や生活をしていく、または高等教育機関で授業についていくための英語力がどの程度あるかを測定するために開発されました。英国を中心とした英語圏（イギリス、オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、アイルランド、アメリカ）の大学に進学する、また海外移住申請をする際に、自身の英語力を証明するために使用されます。

IELTS は、ケンブリッジ大学英語検定機構（Cambridge English Language Assessment）、ブリティッシュ・カウンシル（British Council）、IDP:IELTS AUSTRALIA の3団体が共同運営で保有する試験です。世界では140カ国の1,000以上の会場で1年間に最大48回実施され、2014年のデータでは年間約250万人が受験しました。日本国内では、2010年4月より公益財団法人日本英語検定協会とブリティッシュ・カウンシルが共同で運営を行うようになり、試験会場が18都市に拡大し、2014年度までに受験者は約4倍増の31,000人に達しました。日本の大学も海外からの留学生受け入れのために IELTS を採用する大学等が増えてきています。アメリカの大学では一般的に TOEFL [トーフル] が英語力の証明に使用されていますが、最近では積極的に IELTS を受け入れる大学も増え、いわゆるアイビーリーグを含む約3,000の大学等で認定されています。これも IELTS が優れた英語能力測定テストだからと言えるでしょう。

IELTS には、General Training Module と Academic Module の2つのタイプがあります。前者は、現地の高校（secondary schools）や職業訓練校・専門学校（vocational training courses）へ入学を希望する人、または移住申請を希望する人を対象とした試験です。そのため、学術的な能力や知識必要とされず、日常生活レベルでの一般的な英語能力を測る試験になっています。一方、後者は、英語圏の大学で学部（undergraduate）または大学院（postgraduate）レベルでの留学を目指す人を対象としています。当然、英語で学問を進める能力が問われるため、試験で使用される英語もその内容も学術的な色合いが増してきます。どちらのモジュールでも、聞く、読む、書く、話す、の4技能がバランス良く測定されることは変わりません。

あなたが海外留学を目指している場合、これら2つのタイプのどちらを受験するかは、入学を希望する学校がどちらを指定しているかを確認した上で決めることになります。実際には、Academic Module の成績であれば、どのような学校でも入学審査の要件として受け入れてくれますし、現実には受験者の大半が Academic Module を受験しています。そのため、本書では Academic Module に限定して扱うことにします。

## Q2 「IELTS についての情報はどこで手に入れますか？」

本書の初版が出版された 2003 年頃、日本では IELTS は商業的な宣伝はほとんどされていませんでした。そのため、試験の知名度もあまり高くなく、いざ受験したいと思っても「どうしていいのかわからない」「どこにきけばいいのかわからない」「どんな試験なのかわからない」といった不安がイギリス留学をめざす人々の間で多く聞かれました。そんな声に応える形で本書は世に出ました。

2010 年 4 月より公益財団法人日本英語検定協会がブリティッシュ・カウンシルと IELTS の共同運営を行うようになって以来、日本英語検定協会のホームページから日本語でさまざまな情報を得ることができるようになりました。まずは以下のホームページを参照してみましょう。(以下の URL は 2016 年 3 月時点のものです。)

日本英語検定協会が提供する IELTS の概要・受験案内など (日本語)

[www.eiken.or.jp/ielts/](http://www.eiken.or.jp/ielts/)

ブリティッシュ・カウンシルが提供する IELTS の概要 (日本語)

[www.britishcouncil.jp/exam/ielts](http://www.britishcouncil.jp/exam/ielts)

3 団体が共同で提供する IELTS の概要やサンプル問題など (英語)

[www.ielts.org](http://www.ielts.org)

ケンブリッジ大学英語検定機構が提供する IELTS の概要など (英語)

[www.cambridgeenglish.org/exams/ielts/](http://www.cambridgeenglish.org/exams/ielts/)

## Q3 「試験にはいくらかかりますか？」

受験料は 25,380 円 (2016 年 3 月現在) です。インターネットでの申し込みの場合はクレジットカード支払い、コンビニ支払いまたは郵便局 ATM のいずれかを選択できます。郵送での申し込みの場合は、指定された銀行口座に振り込むか、郵便為替で郵送することになっています。

なお、IELTS 受験には試験当日に有効なパスポートの原本が必須になりました。そのため受験申し込みをするためには、事前にパスポートを取得しておく必要があります。

## Q4 「受験資格ってありますか？」

General Training Module と Academic Module のいずれのモジュールを受験する場合でも、16 歳以上であることが条件になります。また、申込時から試験日まで有効なパスポート (原本) を必須ですので、これも条件になります。パスポートの写しやその他の身分証明書での受験はできません。それ以外には受験資格を制限する事項はありません。

## Q5 「試験はどこで受けられますか？」

IELTS は世界 140 カ国の 1,000 以上の会場で年間最大 48 回の試験が実施されています。2015 年度は日本国内の 18 の都市 (札幌、函館、仙台、東京、埼玉、横浜、松本、都留、金沢、名古屋、京都、大阪、神戸、岡山、広島、高知、福岡、沖縄) で試験が実施されました。試験日によって受験可能な試験会場は限定されますが、国内いずれかの会場ではほぼ毎週試験は実施されています。

## Q6 「いつ試験は受けられますか？」

試験日程は日本英語検定協会のホームページで確認することができます。Q2に示したURLを参照して、受験の日程を検討してください。事前にパスポート取得が必要であることを忘れないでください。

試験日によって受験可能な試験会場は限定されますが、国内いずれかの会場ではほぼ毎週試験は実施されています。受験申し込みの締切りは、試験日5週間前の金曜日17時と決められていますが、会場ごとに定員があるため、締切日前でも定員に達すると申し込みが打ち切られることもあります。また、通常、試験は1日で実施されますが、東京と大阪の試験会場ではスピーキングテストのみ別日に実施する「2-Day」の試験設定もあります。この場合、両日とも受験しないと失格になるので注意が必要です。スピーキングテストの日時指定はできません。この東京と大阪の「2-Day」の設定に限り、5週間前の締切りを経過しても定員に空きがあれば申込ができる「レイト・レジストレーション」もあります。

なお、以前は1度受験すると、前の受験日から91日(約3ヶ月)を経なければ次の受験が認められないという制約がありましたが、現在はなくなりました。

## Q7 「テストを受けるにはどういう手続きが必要ですか？」

**1** まずは受験当日に有効なパスポートを取得します。IELTS受験にはパスポートの原本が必須です。試験当日にパスポートを持参しないと、いかなる理由があっても受験できません。また、試験日の変更やキャンセルにも応じてもらえません。

**2** 日本英語検定協会のホームページからインターネット申し込みが可能です。Q2で示したホームページから受験登録を行います。初めて申し込む場合は、IELTS IDを取得する必要があります。IELTS IDでログインしたら、受験者情報を入力し、受験地やテストタイプ、受験日等を選択します。最後に受験料の支払い方法を選択します。受験登録が完了すると、受験登録完了メールが届きます。

**3** 受験登録が完了したら、申込日を含む4日以内に受験料を支払います。またパスポートの顔写真と旅券番号が記載されたページのコピーを選択した試験会場を管轄するIELTS事務局宛に1週間以内に郵送します。送付期限内にパスポートのコピーを送らないと、本人確認ができないという理由で受験できなくなります。また受験料の返金を受けることもできません。

**4** 試験日の2週間前から「マイページ」内の「登録内容確認・変更・キャンセル」で受験確認書を閲覧することができるようになります。試験情報を確認しておきましょう。なお、受験票は発送されません。

**5** 受験当日は、時間にゆとりを持って受付集合時間までに会場に到着しましょう。受付時間を過ぎての遅刻による受験はできません。試験会場には以下の4点のみが持ち込み可能です。

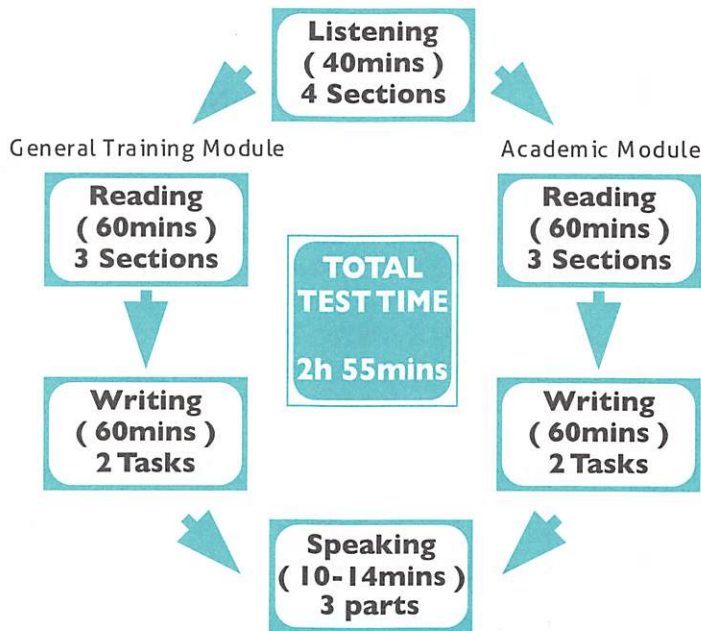
- ① 試験当日に有効なパスポートの原本
- ② 鉛筆 (シャープペンシルは不可)
- ③ カバーを外した消しゴム
- ④ 無色透明なプラスチックボトル入りの水

## Q 8 「試験の時間はどのくらいですか？」

Q 1 で述べた通り、IELTS には General Training Module と Academic Module の 2 つのタイプが用意されています。いずれも Listening (40 分) → Reading (60 分) → Writing (60 分) → Speaking (約 11 ~ 14 分) の順番で行われます。このうち、リスニングとスピーキングは共通の問題を受験します。リーディングとライティングは受験するモジュールによって異なる問題となります。General Training Module のリーディングとライティングは仕事や生活をしていくための英語力を測るための生活に密着した一般的な英語を扱うのに対し、Academic Module では英語で学問するための英語力を測るためにより学術的な内容での出題となっています。

試験の流れをフローチャートに整理すると、次のようになります。

(図 1) IELTS 実施の流れ



なお、通常は、午前中にリスニング、リーディング、ライティングの筆記試験を行い、午後にスピーキングの試験を実施することになっていますが、東京と大阪の試験会場では別日にスピーキングを実施する「2-Day」の試験設定もあります。

## Q 9 「結果はいつ分かりますか？」

試験日から 13 日目の 19 時にオンライン上で確認できるようになります。同時に公式な成績証明書 (Test Report Form) が発行され、1 通のみ受験者宛に郵送されます。電話やファックス、メールでは通知してくれません。証明書記載の発行日から 30 日以内であれば、IELTS の認定機関として登録された教育機関や移民局宛に 5 通まで無料で Test Report Form を追加発行してもらうことが可能です。



## Q 10 「IELTS の結果はどう見るのですか？」

IELTS の試験結果は、一般的な試験のような“得点”ではなく、9段階の中でどのレベルに相当するかを指す“バンドスコア”という概念で表示されます。合格・不合格もありません。4技能ごとの Band Score の平均が Overall Band Score となります。

IELTS の成績証明書には、4技能ごと個別の Band Score と総合評価としての Overall Band Score が記載されています。個別の Band Score も Overall Band Score もともに1から9までの0.5刻みで表示され、9が最高の「エキスパート・ユーザー [Expert user]」、1が最低の「非ユーザー [Non-user]」となります。(表1)で成績証明書の例を見てみましょう。

(表1) Test Report Form で見る試験結果の例

Test Results				
Listening	Band	5.5		
Reading	Band	6.5		
Writing	Band	5.0		
Speaking	Band	5.0	OVERALL BAND	5.5

一般に、イギリスの大学の学部レベルに入学を希望する場合、Overall Band Score で6.0～6.5が要求されるようです。もっとも Overall Band Score で基準スコアをクリアしていれば安心ということにもなりません。学校や専攻によっては、重きをおく能力が違うこともあり、特定の分野の成績が極端に悪い場合には入学を許可されないこともあります。たとえば、発表を中心とするクラスが多い専攻では、リーディングやライティング以上に高いスピーキング能力を要求するかも知れません。逆にジャーナリズム専攻などでは、極めて高いライティング能力が求められるかも知れません。自分が入学を希望する学校・専攻が、留学生にどのような要件を課しているか事前に正確に把握しておくことが必要です。なお、Test Report Form に記載された結果は試験日から2年間有効となっています。

参考までに IELTS の Overall Band Score と他の英語能力試験のスコアや級との比較を(表2)に示しておきます。あくまでも目安としての対応表です。

(表2) IELTS の成績と他の英語能力試験との比較

CFER	IELTS	TOEFL-iBT	TOEIC	STEP (実用英検)
C1	7.0-8.0	95-120	L&R 945- S&W 360-	1級
B2	5.5-6.5	72-94	L&R 785- S&W 310-	準1級
B1	4.0-5.0	42-71	L&R 550- S&W 240-	2級
A2	3.0		L&R 225- S&W 160-	準2級
A1	2.0		L&R 120- S&W 80-	3-5級

出典：4skills.eiken.or.jp/qualification/comparison\_cefr.html より一部抜粋

## Q 11 「どうやって勉強したらいいのかわかりません！」

IELTSは信頼度の高い英語能力試験であるにもかかわらず、TOEFL[トーフル]やTOEIC[トエイック]に比べると認知度があまり高くなく、街角の書店でも書籍や教材をほとんど扱っていません。これまでもイギリス留学を目指す人々は「どうやって勉強すればいいの?」と不安を抱えてきました。

**1** まずはQ2で紹介したホームページからIELTSに関する情報を入手しましょう。試験対策の第一歩は、試験の内容と出題傾向を正確に把握することから始まります。試験の特徴を理解しないで受験すれば、あなたの英語力のすべてを成績に反映することはできません。IELTSは、TOEICや実用英検のようなマークシート方式の解答ではなく、解答用紙に鉛筆で単語を綴って書き込みます。それだけでも試験中には大きな違いになります。実際の試験問題には、どのような特徴の問題が何題出題されるか、解答はどのタイミングでどこにどのように書けばいいのか、など知っておくべき情報はたくさんあります。

**2** IELTSの概要と特徴が分かったら、今度は本書の各章の理論編の解説を頼りにしながら実践編に含まれる練習問題で問題の解き方を体験してみましょう。制限時間を気にする必要はありません。必要であれば、辞書や参考書を使っても構いません。まずはどのような手順で取り組みれば正解にたどり着けるかを体感することがポイントです。

**3** ある程度、問題の解き方のコツが分かってきたら、巻末のサンプルテストを使って模擬試験に挑戦してみましょう。その際は、時間を計ってできるだけ実際の試験と同じ環境で取り組むことが大切です。電話やSNS、メールなどで試験が遮られることがないように注意しましょう。また、トイレなどの休憩も実際の試験に合わせて調整しましょう。本番さながらの模擬試験を数回繰り返すことで、試験時間を有効に使う時間管理を身につけるのがねらいです。本書には2回分のサンプルテストが含まれています。時間管理を習慣化するためには、できるだけ多くの模擬試験に本番と同じ環境下で取り組むことをお勧めします。

**4** 多くの模擬試験に挑戦しようとする、日本国内で出版されている書籍だけでは限界があります。その場合は、海外で出版されている問題集も活用するといいいでしょう。ただし、これらの書籍は(当然ですが)すべて英語で書かれていて、解説も日本人にとってはあまり丁寧とは言えません。そのため、事前に本書で基本的な知識とスキルをしっかりと学んでおく必要があります。

最も有名なのはIELTSを共同運営するケンブリッジ大学英語検定機構が出版するもので、過去問題を使ったいわゆる「公式問題集」です。洋書を扱う大型書店やインターネット書店などで入手可能です。2016年3月現在、10巻まで出版されています。

### *Cambridge IELTS 10*

Authentic Examination Papers from Cambridge University Language Assessment  
Cambridge University Press, 2015.

### *Cambridge IELTS 9*

Authentic Examination Papers from Cambridge University Language Assessment  
Cambridge University Press, 2013.

### *Cambridge IELTS 8*

Authentic Examination Papers from Cambridge University Language Assessment  
Cambridge University Press, 2011.

また 2015 年にはブリティッシュ・カウンシルから日本語での「公認問題集」が出版されました。これは中国向けに出版されていた“IELTS Essential Guide”の日本語翻訳版です。本書同様に日本語による解説と練習問題、模擬試験 1 回分が含まれており、目標スコア 7.0 を想定しているようです。

『IELTS ブリティッシュ・カウンシル公認問題集』

ブリティッシュ・カウンシル(著) 旺文社(編) (旺文社, 2015)

## 5 IELTS コースを設置している学校に通う

本書の初版が出版された 2003 年頃に比べると、桁違いに IELTS 対策のクラスを提供する語学学校の数が増えました。ライティングやスピーキングなど、直接に添削指導を受けたい場合は有効かも知れませんが、指導が必要な分野を絞るなど、自分の目標や予算に合いそうなコースを探し、比較検討してみるもの良いでしょう。ただし、受講前の事前準備と自学は必須です。

## Q 12 「目指していた成績が取れなかったら、どうしましょう？」

以前はあった受験の間隔に関する制約はもうありません。ですので、受験の日程が合えば、何度でも挑戦できます。自分が足りなかった部分を補強して、再チャレンジしましょう。

また、学校やコースによっては、要求する成績に少し足りなかったとしても、ある一定期間のうちに基準に達することを条件とした条件付入学許可 (conditional offer) が与えられることもあります。志望する学校が要求する Overall Band Score に 0.5 (時には 1.0) 足りなかったとしても、すぐに絶望する必要はありません。さまざまな可能性を検討してみましょう。

## Q 13 「IELTS って英語力以外の力が要求されますか？」

IELTS が試そうとしている能力は次のようなものです。

### 英語力

1 英語のテストなので、当たり前と言えば当たり前です。具体的には

#### (基本的な) 語彙力

- 見たり聞いたりした時に単語の意味が浮かぶか (主にリーディングとリスニング)
- 自分の意見を伝えるために適切な単語を使えるか (主にライティングとスピーキング)

#### 文法力

- 文法に従って、文の意味が正確にとれるか
- 文法に従って、正しい英文が書けるか

### 論理的思考能力

2 IELTS で求められるのは狭義の英語力だけではありません。1 であげた基本的な英語力を駆使して、あなたがどれだけ論理的な思考ができるのかも測ろうとします。TOEIC で出題されるような単文による 1 問 1 答形式の設問は IELTS では見られません。4 技能のいずれでも、まとまった分量の英語素材を論理にしたがって正確に理解できるか、自分の意見を論理的に構築できるか、という能力が IELTS では求められます。

## Q 14 「IELTS の問題に使われる題材はかなり専門的で難しいものだと聞いたのですが…」

リスニングやリーディングに使われる英文はかなり専門的です。初めて受験する人が試験問題を見てとまどうのは、まずこの点でしょう。自分は大学で心理学を勉強したいと思っているのに、読解問題の内容が工学、生物学、経済学だったりすることがよくあります。専門用語も出てきて、「こんなのわかるはずがない」と投げ出してしまいたくなる、と思うのも無理はありません。

でも、ここであきらめないでください。問題をよく見ると、専門用語を知らなくても、その分野の専門知識がなくても、解けるものであることがわかるはずです。自分が知らない専門用語があっても、その専門用語をXとして読み進めば解けるような問題になっています。IELTS が測ろうとする能力はQ 13 で述べたように、基本的な英語能力と論理的思考能力であり、専門分野の知識ではありません。ですから、基本的な英語能力をしっかりと身に付け、理解力、論理的思考法、考えをまとめる力をつける訓練を積みばちゃんと解ける問題なのだとすることを忘れないでください。

## Q 15 「IELTS の資料にはよく出てくる“academic”ってどういう意味ですか？」

IELTS の試験には、Academic Module と General Training Module があることはQ 1 で説明しました。本書で主に説明しているのは Academic Module です。リスニングのセクション3～4の音声素材やリーディングで扱われる長文は、ともにアカデミックな内容及び文体です。またライティングの問題指示には「大学の先生に提出するレポートを書きなさい」とあります。これはつまり「アカデミックな小論文・学習レポート(=イギリスではこれらを essay と呼びます)を書きなさい」という意味です。

では、「アカデミック」とは一体どういうことでしょうか？辞書的には「学問的な」とか「学術的な」という意味ですが、つまりは大学などの高等教育機関で通用する語法や文体と内容構成をともなった英語ということです。リスニングのセクション1の会話の中では、カジュアルな話し言葉が中心に使われます。しかし、セクション2～4の説明や会話ではよりフォーマルな話し方が使われます。リーディングやライティングでは、フォーマルな書き言葉のルールに準じた英語が使われ、またそれに従った英語を書くことが求められます。

内容構成については、その文章が述べている意見とそれを支える根拠が「客観的である」ということ、そして論理展開が「首尾一貫している」ということが重要になります。自分の意見や考えを展開するとき、個人的な好き・嫌いや感情論で語るのではなく、他の人にも確認できる客観的事実をひきあいに出して、こうだからこうなる、といった具合に論理を組み立てていくのです。

とはいっても、最初は戸惑いもあるでしょう。初学者にとってはフォーマルかアカデミックかなんて意識している余裕は無いかも知れません。でも、実際の試験問題に取り組む中で「こんな表現が使える」「こうした言い回しが好まれるらしい」とか「こうした順序で論旨を展開するのか」といった気づきを重ねていけば、やがて自然と身についてくることでしょう。そのためにも、アカデミックな英語素材にたくさん触れて英語の表現の幅を広げていくことが近道になります。

IELTS (International English Language Testing System)

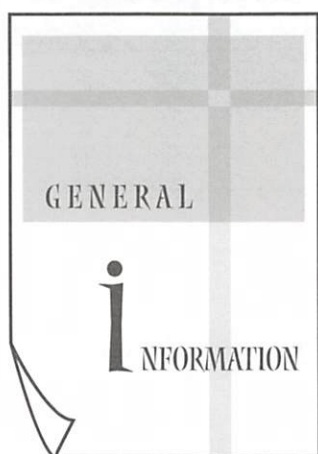
## Chapter 2



### IELTS 傾向と対策



# Listening



- IELTS 試験の中で最初に受けるテストです。
- Academic Module, General Module 両方に課され、両方とも同じ出題です。
- 他の受験者と同じ部屋で録音 CD を聞きます。CD は中断なく約 30 分流れます。CD を聞きながら、流される指示に従って問題を解きます。
- CD から答えるべき問題番号が指定され、問題を読む時間が与えられます。録音会話が流れ始めたら、聞きながら問題を解いていきます。
- 解答はまず問題冊子に書き込み、あとで解答用紙に書き写します。
- 全部で大問が 4 題あり、全部で約 40 問出題されます。
- それぞれの大問の後に、答をチェックする時間が 30 秒与えられます。すべてのテスト終了後、答を解答用紙に書き写すための時間が 10 分与えられます。

## このセクションのポイント

~このセクションを読むと、こんなことがわかります~

- ★ IELTS のリスニングテストとは？
- ★ IELTS リスニングテストの注意
- ★ 出題パターン別解法のステップ

# 理論編

## 1 留学と Listening 能力

留学をしてみると、「生活で使う英語」と「授業で使う英語」の二つが必要であることがわかります。「生活で使う英語」は、空港でのアナウンス、乗り換え案内、ショッピング、旅行、レストラン、ホテル、部屋を借りる、大学の施設を使う、などが考えられます。ここまでは普通の英会話の練習や英語用のリスニング教材である程度身につけられるものですが、留学には「授業で使う英語」を聞き取る能力が必要となってきます。

当然ながらイギリスの（オーストラリアやニュージーランドでも）大学の授業は英語で進められます。イギリスの大学での授業は、①教授による講義、②教授をセミナー・リーダーとしての学生参加の討論、から成っています。教授による講義を聞き、それを理解し、セミナーでその問題について討論する、というのが理想的な形です。「参加度」を重視する欧米流の評価形式では、「聞けない」ということは時には致命傷となります。留学生にとっては、そして特に日本人にとっては、この Listening 能力が留学成功の大きなカギとなってきます。「聞けない」ということは、何が問題になっているのかも理解できず、前の発言者の意見がわからずに次に何を言っているのかわかりません。また、教授でもなまりのある先生もいるでしょうし、ネイティブでもなまりのある人、また留学生がクラス内にいれば、それぞれのお国なまりがありますので、テープ、テレビ、ラジオの英語との違いに驚くことも少なくありません。こうした「なまり」まで事前に勉強することは無理ですが、英語での授業にある程度ついていけるかどうかを測るのが IELTS の Listening テストなのです。

IELTS の Listening テストは大問が4つ出題されます。内容は、①「生活で使う英語—会話編」、②「生活で使う英語—説明編」、③「授業で使う英語—会話編」、④「授業で使う英語—講義編」、という4つのカテゴリーに分かれているのが一般的な傾向です。このように、IELTS は留学の際に必要な英語力がどのくらいあるかということを体系的に調べるものなのです。

## 2 リスニング・テストの流れと注意事項

（すべてがCDに従って行われるので、CDがまわり始めたら、もう試験の開始です。CDはたった一回しか聞けませんので注意してください）

1. CD の声の問題冊子の表紙に書かれた指示を読み上げる。
  - \* 指示を読み上げる CD を聞きながら、英語のスピードやアクセントに慣れておく。
  - \* この時に、ボリュームの調節を要請することができる。
2. テスト問題が読まれる。
  - \* テスト問題が読まれる前に、ポーズや問題の指示のアナウンスがあるはずなので、IELTS の形式に慣れている人なら、この時間に最初の問題にさっと目を通しておく。
  - \* テスト問題が読まれている間に、問題冊子にノートをとったり、問題を解いたりする。
3. ところどころポーズがはさまれる。
  - \* この間に、解き残した問題に取り組む。解答のチェックを行う。
4. すべてが終ると、10分の時間が与えられる。
  - \* 問題冊子から解答用紙に答を写す。

### 3 リスニング攻略のアドバイス

1. リスニングの問題冊子では指示はいつも斜字体で書かれている。指示の中でも大切なことは太字・斜字・大文字で書かれている。
2. 語や文で書くのか、記号(A,B,C...)で書くのか、数字で書くのか、チェックを入れるのか指示をよく読んで間違えないようにしよう。
3. 問題の指示をよく読もう。特に解答で求められている単語の数を確認しよう。  
\* **NO MORE THAN THREE WORDS**とあれば、3語以下ということ(3語はOK)である。
4. CDを聞きながらノートを取ろう。その場で解ける問題は即座に解答を書く。  
\* だいたい読まれた順に問題が出題されているはずである。
5. 全ての単語を聞きとろうとする必要はない。問題に対する答にあたる部分だけ注意して聞こう。
6. 一部が聞き取れなくても気にしないこと。問題に答えるために必要な情報は繰り返されることがよくある。
7. 答を逃した、と思ってもそれにこだわらないで次の問題に行く潔さをもとう! 気にしてそのあとの問題をいくつかを無駄にしないことが肝要。
8. 解答欄を間違えない。



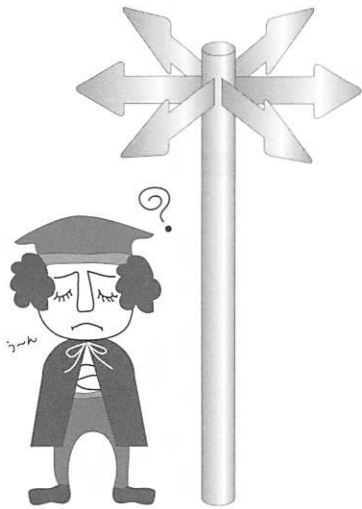
① CDに吹き込まれる話者は、普通、イギリス人またはオーストラリア人です。(時には、留学生として、イタリア人やインド人がでてきて、なまりのある英語を聞くことになることもある。)彼らは普通に話す速さで話し、外国人向けのテストだからといって不自然にゆっくりとはっきりと話してくれるわけではないので、最初驚くかもしれません。しかし、Section 1と2は特別難しい内容を言っているわけではありませんし、答となりそうなところは繰り返してくれることもよくあるので、心配にはおよびません。

細かいことは気にせず、大体の流れをつかめばいいのです。Section 3と4は内容も難しくなりますので、全部答えてやるんだ、と肩肘はらずに、いくつか答えられたらいい、という気持ちでのぞみましょう。

② 数字を入れることが期待されているところで、実際にその数字そのものがテープで読まれないことがあります。その場合は、出てくる数字を用いて簡単に計算することになります。数字を単語で書くと時間がかかるので、日頃から聴いた単語を数字に換える訓練をしておきましょう。Millionはm, Billionはbnと書くようにしましょう。電話番号の場合、0は「オー」、33は「ダブル・スリー」、333は「トリプル・スリー」と読まれることがよくあります。

③ 表や図を完成させる問題では、欄に入れる答の形態をそろえること。すでに入っている答を十分に利用すれば、答を予測する手助けとなります。すでに数字が入っているなら数字で、単語が入っているなら単語で答えます。





## リスニングテスト攻略法

### STEP 1

CD が流れる前に 問題をざっと見る (30 秒)  
何を答えなくてはいけないのかをチェックしよう。

### STEP 2

CD を聞きながら ノートを取る  
セクションごとに解答用紙に記入する時間はあります。まずは問題に集中して、メモをとろう。

### STEP 3

CD を聞きながら 答を作成する  
問題用紙に直接答を書き込む。

### STEP 4

CD 終了後 答を解答用紙に書く (10 分)  
時間はたっぷりあるので、スペリングミスなどに気をつけよう。

# 実践編

## 1 問題の種類

リスニングテストでよく出てくる問題の種類をここで紹介しましょう。

1. multiple choice questions (多項式選択問題)
2. short-answer questions (英問英答)
3. sentence completion (英文完成問題)
4. notes/ summary/ diagram/ flow chart/ table completion, diagram labelling, classification (図表の完成)
5. matching (組み合わせ問題)

いくつかの問題を例をあげて説明してみましょう。

### 1. Multiple Choice Questions (多項式選択問題)

#### Question 1

Circle the correct letter A-D.

Where did Linda lose her handbag?

- |                      |                |
|----------------------|----------------|
| A. at home           | B. in the taxi |
| C. in the restaurant | D. in the shop |

<解法・解説>

キーワードに下線を引いてみる。これによって、どんなトピックか、どんなことが起こるのか、どんな答が期待されているのかについて情報を得ることができる。

例：Where did Linda lose her handbag?

### 2. Short Answer Questions (英問英答)

#### Questions 5-6

5. At what time did Linda lose her handbag? \_\_\_\_\_

<解法・解説>

これもキーワードにアンダーラインを引こう。たずねられているのは What time? なのだから、「～時」で答える。

### 3. Sentence Completion (英文完成問題)

Complete the sentences using **NO MORE THAN ONE WORD** for each answer.

On (1)\_\_\_\_\_ morning, Linda went out (2)\_\_\_\_\_. After she got off the (3)\_\_\_\_\_, she found she had left her (4)\_\_\_\_\_ behind. She was very upset and rushed into a (5)\_\_\_\_\_ station.

Possible answers: (1) Sunday      (2) shopping      (3) train  
(4) handbag      (5) police

#### <解法・解説>

CDから流れてくる問題文は、ここに書かれた問題通りではなく、表現は変えられている。CDを聞きながら大意をとり、それに合わせて空所に適切な単語を入れていこう。問題文が読まれる前にだいたいの推測をしておくことはできる。(1)は、On\_\_とあるのだから、曜日が入ると予測はつく。(2)も、went outに続くのであるから、「何をしにいったか」である。(3)も、got offに続くのであるから「乗り物」である。(4)も、乗り物の中で忘れがちなものは? (5)も、何かをなくして駆け込むところは、police stationであることは推測がつく。

## 2 各セクションの問題の特徴

問題は4つのセクションに分かれています。進むにつれてだんだん難しくなっていくので、最初の簡単な問題は確実にとるようにしましょう。以下は、それぞれのパートの特徴とアドバイスです。

### Section 1: 日常生活を扱った会話

住む所を探す、レストランやショップでの会話など。比較的簡単な内容なので、落ち着いて取り組みばある程度点数のとれる問題。最初に例題が読み上げられ、それから実際のテスト問題に入る。通常、問題は2部に分かれており、途中でポーズが入る。

#### ◆ 例 ◆

### Section 1: Questions 1-10



#### Script:

Announcer: Listening Section 1. In a moment, you are going to hear a conversation between Katherine and an airline check-in clerk at the airport. Katherine is now checking in. Before you listen, look at Questions 1 to 5. Note the examples that have been done for you. (Pause) As you listen to the first part of the conversation, answer Questions 1 to 5.

Katherine: Is this the check-in counter for KLM Flight 356?

Clerk: Yes, ma'am. May I see your passport and ticket, please?

Katherine: Well, Here's my passport, and ...

Clerk: Thank you. And your ticket?

Katherine: Yes ... now, where did I put it? Oh, here it is, in my bag. Here you are.

Clerk: All right. Do you have any preference regarding seating?

Katherine: Anywhere is fine. And I'd like an aisle seat if possible.

Clerk: That's no problem. The flight is only half full today. How many pieces of luggage do you have?

Katherine: Three. I'd like to take this one with me as a carry-on.

Clerk: So that's three with carry-on or three without?

Katherine: Three without.

Clerk: I see. Then first, let me weigh your carry-on bag. Could you put it on the scale, please?

Katherine: O.K. Like this?

Clerk: Yes, that's fine. That's 5 kilograms, so that's all right. Now, please remove your carry-on bag and put the rest of your luggage on the scale.

Katherine: Sure.

Clerk: All right. That's one carry-on at 5 kilograms and three pieces of luggage totaling 19 kilograms. Good. Your baggage is within the weight allowance. Here's your boarding pass. I've clipped your baggage claim tag to your ticket. You'll need it when you re-claim your baggage at the other end.

Katherine: I see. Thank you very much.

Clerk: You're welcome. Enjoy your flight.

---

### Questions 1-5

---

Circle the appropriate letter, A, B, C, or D, as you listen.

1. What is the flight number of the plane Katherine is getting on?  
A. 356                      B. 365                      C. 346                      D. 378
2. Where did Katherine put her ticket?  
A. In her wallet.    B. In her bag.    C. In her hand.    D. In her pocket.
3. Which seat did Katherine ask for?  
A. An aisle seat.                      B. A window seat.  
C. A smoking seat.                      D. A middle seat.
4. How many pieces of luggage did Katherine have, if her carry-on luggage is counted?  
A. Three.                      B. Four.                      C. Five.                      D. Six.
5. How much did Katherine's luggage weigh including her carry-on luggage?  
A. 5 kilograms    B. 10 kilograms.    C. 19 kilograms.    D. 24 kilograms.

答 : 1. A    2. B    3. A    4. B    5. D

Section 1 は身近な話題の会話で、問題もそれほど難しくはなく、その答も CD で言っている通りの素直なものが多い。ここで点数をとっておくこと。それでも多少まぎらわしい問題は混じっているもの。本問では 4、5 がひねった問題である。CD では、「荷物はいくつか？」という問いに対して、「3」と答えているが、そのあとで、その数は手荷物を含んでいないものであることがわかる。問題では「手荷物を含めて」と尋ねているので、答は「4」である。問題 5 は、計算が必要な問題である。「手荷物を含めてキャサリンの荷物は全部でどのくらいの重さか？」という問い。CD では、手荷物が「5 キロ」、預ける荷物が「19 キロ」といっているのであるから、全部の重量はこれらを足して、「24 キロ」になる。

☆ 実際には、このあとに pause があり、Section 1 の後半部分が読まれるので、ここで安心しないこと。(Pause) As the conversation continues, answer Questions 6-10. と読み上げられますので、すぐに次の問題に目を通しておくことが大切です。

### Section 2: 日常生活を扱った説明文

モノログ形式なので、話者は 1 人で、何かを説明するものが多い。図書館の使い方、大学のコースの説明など。例題はなし。通常 2 部（問題も）に分かれており、途中でポーズが入る。



### Section 2: Questions 11-15



#### Script:

Announcer: Listening Section 2. In a moment, you are going to hear a talk given to new students at North University. Before you listen, look at Questions 11-15.

(Pause)

Kevin Ferguson: Nice to meet you, everybody. My name is Kevin Ferguson. I'm Dean of the Department of Chemistry here at North University. First, I'd like to tell you a little about our faculty. We offer two courses, the UFD course, and the BSc course. The UFD course requires two years of full-time study. After that, if you choose to continue your studies, a further two years leads to a BSc. Also, if you demonstrate good performance at the end of the first year, you are eligible to transfer to the BSc course. The BSc 2+2 course is specifically for students who would benefit from a more gradual approach to a degree programme.

## Questions 11-15

Complete the sentences using **NO MORE THAN ONE WORD** for each answer.

The Department of (11)\_\_\_\_\_ at North University offers two courses: the (12)\_\_\_\_\_ course and the (13)\_\_\_\_\_ course. The former requires (14)\_\_\_\_\_ years of full-time study. After that a further (15)\_\_\_\_\_ years leads to a BSc.

答 : 11. Chemistry    12. UFD    13. BSc    14. 2    15. 2

要約の完成問題では、キーワードが問われることが多い。ノートを取った中に解答が見つけれられる可能性が高いので、ノート取りの練習が活かされる。この問題は化学学部のUFDとBScのコースの説明である。どういうコースなのか、何年コースなのかが聞き取れたら解けるはずだ。ちなみにBAは文科系、BScは科学系の学部卒業者に与えられる学位の名称で、イングランドでは通常3年間である。UFDは、BScをとるのに力が足りない人が、2年間でとるコース。そのまま終わったら、National Diplomaがもらえるが、そのままBScの2年生に編入して、2年間でBScをとることができるコースである。IELTSでは教育制度もよく出されるので、こうした基礎知識は知っていた方が有利である。

### Section 3: アカデミックな会話

授業などを扱った、学生間、学生と指導教官や学校スタッフの会話などが多い。例題はなし。通常2つの部分に分かれている。

### ◆ 例 ◆

### Section 3: Questions 21-25



4

#### Script:

Announcer: Listening Section 3. In a moment, you are going to hear a conversation among Allan, Miriam and Sandy, three medical students. They are talking about *in vitro* fertilization. Before you listen, look at Questions 21-25. Note the examples that have been done for you.

(Pause)

Allan: Did you hear about the woman over 60 who gave birth to a baby a few weeks ago?

Miriam: Yes, I saw it on the news. I was quite shocked. My grandmother is 62 now. Does that mean she still has a chance to have another baby?

Sandy: I suppose it does. If she did, you'd have an aunt 18 years younger than you!

- Miriam: It's almost impossible to believe.
- Allan: Well, it's a completely new technology. According to an article I read, doctors take a cell from an infertile woman's body and insert it into a donor egg that has been emptied.
- Miriam: In other words, the resulting egg contains the genetic material of the woman who wants to have the baby, and not that of the donor.
- Allan: Exactly. Theoretically, the technology could create an unlimited supply of eggs for infertile women.
- Sandy: I see. So older women who haven't been able to give birth before would be able to have children.
- Allan: Yes, but according to Dr. Gianpiero Palermo, a professor at Cornell University who developed the technique, it's not only older women who would benefit. The method could be used to help younger women who can't produce eggs or whose eggs are deficient in some way.
- Miriam: It's like a miracle, really.
- Allan: Yes. Dr. Zsolt Peter Nagy, a prominent fertility researcher, says the technique is potentially one of the most important advances in fertility treatment ever.
- Miriam: But I thought it was Dr. Robert Edwards, a Cambridge University professor, who introduced *in vitro* fertilization, back in 1978.
- Sandy: Ah, I remember. He's the English doctor who developed the technology for fertilizing an egg outside the body and then implanting into the womb, isn't he?
- Allan: That's right. But then in 1992, Dr. Palermo working in Belgium, took the process a step further and injected sperm directly into the egg—a technique called ICSI.
- Miriam: But everything started with Dr. Edwards, right?
- Allan: True. He gave birth to the idea, so to speak.

## Questions 21-25

Complete the table. Write a NUMBER or NO MORE THAN TWO WORDS.

Name	Year	
Dr. Zsolt Peter Nagy		Said the technique is potentially one of the most important advances in (22)_____ treatment.
Dr. Robert Edwards	(21)	Introduced <i>in vitro</i> fertilization. The (23)_____ is fertilized outside the body and implanted into the womb.
Dr. Gianpiero Palermo	1992	Injected sperm directly into the (24)_____. This technique is called (25)_____.

答 : 21. 1978    22. fertility    23. egg    24. egg    25. ICSI

新しい技術や理論の紹介も IELTS のトピックとしてよくとりあげられる。こうしたトピックの場合、研究者の業績をこのように表にする問題がよく出される。CD を聞きながら、研究者の名前が出たら、そのあとの説明に注意を集中すること。また、こうした医学的なものもトピックによく選ばれるので、遺伝子、クローンなどバイオテクノロジー関係は知識として常にフォローしておこう。Palermo の業績は、精子を直接に卵子に注入したことであり、Edwards の功績は、最初に人工授精を成功させたということが要点である。

### Section 4: アカデミックな講義

アカデミックなトピックについての講義だが、専門的知識は特に必要としない。ノートや要約を完成させるものが多い。話し手は一人。例題はない。ポーズはあるかもしれないが、部分に分けられずに一気に読み上げられることが多い。



### Section 4: Questions 31-33



#### Script:

Announcer: Listening Section 4. In a moment, you are going to hear a talk given by a financial analyst. He will be comparing the penetration rate of the Internet among major countries. Before you listen, look at Questions 31-33. Note the example that has been done for you.

(Pause)

There were 47.08 million Internet users in Japan as of the end of last year, the second-largest number after the 153.84



million in the United States, according to an annual government report released last week. But the report also says Japan ranks 14th in terms of penetration ratio—down from the previous year’s 13th. Sweden had the highest penetration rate, with 56.4 percent of the population on the Net, followed by the U.S. with 55.8 percent, Norway with 52.6 percent, and Iceland with 52.1 percent, according to the report. Japan ranks next to New Zealand with 39 percent and is followed by Australia with 36.9 percent...

### Questions 31-33

Complete the table. Write a *Number* or *NO MORE THAN TWO WORDS* for each answer.

1	Sweden	56.4%	13	(33)_____	39.0%
2	(31)_____	55.8%	14	Japan	37.1%
3	(32)_____	52.6%	15	Australia	36.9%
4	Iceland	52.1%			

答 : 31. U.S.    32. Norway    33. New Zealand

表の完成。数字や、国名を入れさせるものである。速さにまどわされず、数字と国名に神経を集中させて、空所を補っていく。ノートや要約で与えられた情報から話の流れを推測しよう。